

山口県建設技術センター

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。

情報誌 Vol.80

発行：一般財団法人 山口県建設技術センター 発行日：令和8年5月18日

【実務能力研修】現場研修課程（徳山下松港）



【実務能力研修】現場研修課程（古川跨線橋）



センター研修の紹介 ～令和7年度現場研修課程～
e-ラーニングについて
令和8年度の研修計画について
長期派遣研修を終えて
センター業務の紹介 ～技術アドバイザー派遣業務～
新任職員紹介

センター研修の紹介 ～令和7年度現場研修課程～

令和7年12月25日に、徳山下松港国際物流ターミナル整備事業及び古川跨線橋整備事業で現場研修を開催し、県市町合わせて60名の方が参加されました。

このような大規模な現場について、受注者から詳しい説明を受けながら見学できたことは、参加された方々にとって貴重な機会になったと思います。

ケーソン製作用台船の見学(フローティングドッグ船)



徳山下松港国際物流ターミナル整備事業の現場では、国際バルク戦略港湾としての役割と今後の整備工程についてご説明いただきました。

また、ケーソン製作用台船(フローティングドッグ船)に乗船し、ケーソンの製作現場を見学させていただきました。

古川跨線橋整備事業の現場では、工事に至るまでの経緯や綿密な計画準備、橋梁の架設工法についてご説明いただきました。

その後、橋梁の架設現場を見学させていただきました。

橋梁架設の見学(送り出し側)



現場研修は、大規模事業を視察する研修として毎年企画しています。

山口県建設技術協会との共催で、協会により開催されている「大規模事業現場研修会」と合同で実施しており、日々の業務の中では、なかなか関わる機会がないような規模の現場を見に行く良い機会となっています。興味のある方は、是非とも奮ってご参加ください!

工事概要説明(徳山下松港)



ケーソン製作現場の見学(船上)



工事概要説明(古川跨線橋)



橋梁架設の見学(架設桁)



e-ラーニングについて

働き方改革（多様で柔軟な働き方）に対応するため、令和7年度よりe-ラーニングを試行しています。令和8年度も引き続きe-ラーニングを試行していきますので、ご紹介します。

1. e-ラーニングとする研修

①令和8年度 実務能力研修 転勤対象者技術課程

【主な対象者：県の土木技術職員（令和8年4月1日付け人事異動職員）】

②令和8年度 実務能力研修 施工管理（基礎）課程

【主な対象者：県及び市町の土木技術職員で経験が5年程度の職員】



2. e-ラーニングの学習方法

（一財）山口県建設技術センターウェブサイト「県・市町職員限定ページ」にe-ラーニング動画閲覧用ページを用意しており、そこにアクセスいただくことで動画の視聴が可能です。

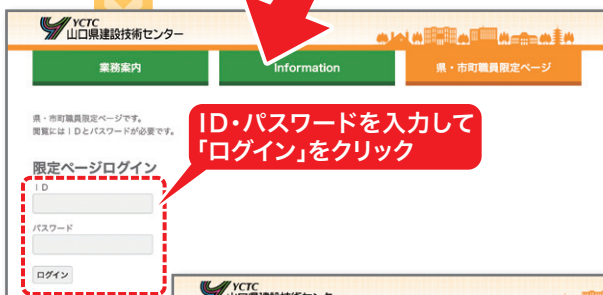
これにより、皆様の学びたい内容を都合の良い時間帯に何度でも学習することが可能となりますので、積極的な活用をお願いします。

なお、e-ラーニングとした研修に関しては、出欠確認は行わず、修了者名簿の作成は行いません。

また、動画視聴後は、アンケートへの回答にご協力をお願いします。



「限定ページログイン」をクリック



ID・パスワードを入力して「ログイン」をクリック



「e-ラーニング動画」をクリック



全ての動画を視聴する場合はコチラ(全ての動画を順番に再生します)

個々に動画を視聴する場合はコチラ(該当する動画を選択していただき再生します)

研修テキストのダウンロードやアンケートへの回答もe-ラーニング動画閲覧用ページより可能です

ヨロシク
お願いします

今後の参考とするため、e-ラーニング動画を視聴された後は、アンケートへの回答にご協力をお願いします！



長期派遣研修を終えて

山口市役所都市計画課 中村 知命



私は令和6～7年度の2年間、派遣職員として山口県建設技術センター（以下、センター）に在籍しておりました。

センターでは主に設計図書作成業務、調査設計管理業務に携わり、山口市ではあまり経験する機会のない工種についても学ぶことができました。調査設計管理業務では、山口県内で使用される技術マニュアルの作成にも携わることができ非常に良い経験ができました。

各業務において、皆様にアドバイスをする立場にありながら、経験・知識不足によりご迷惑をおかけしたことが多々ありましたが、問題解決に当たり、様々な人に助けていただいたこと、参考書等を読んで理解を深められたことは良い経験になりました。

派遣期間中に驚かされたことの1つを紹介させていただきます。それは、上司や同僚の皆様がワークライフバランスを大切にされ、実行されていたことです。当たり前のことなのですが、当たり前のことを当たり前に行われる皆様から日々刺激をいただいていた。

2年間の研修期間を終えて、業務で得た経験や知識は



大きな財産となりましたが、一番の財産は2年間で様々な方に出会えたこと、素晴らしい上司・同僚と仕事ができただけです。

最後に様々なご指導、ご協力をいただいたセンターの皆様、業務を通してお付き合いをさせていただいた、県、市町の皆様、私を研修に出してくださった山口市に感謝いたします。今後は派遣研修で得た経験や知識を活かして山口市に貢献していきたいと思っております。

周南市役所市街地整備課 徳原 章太郎

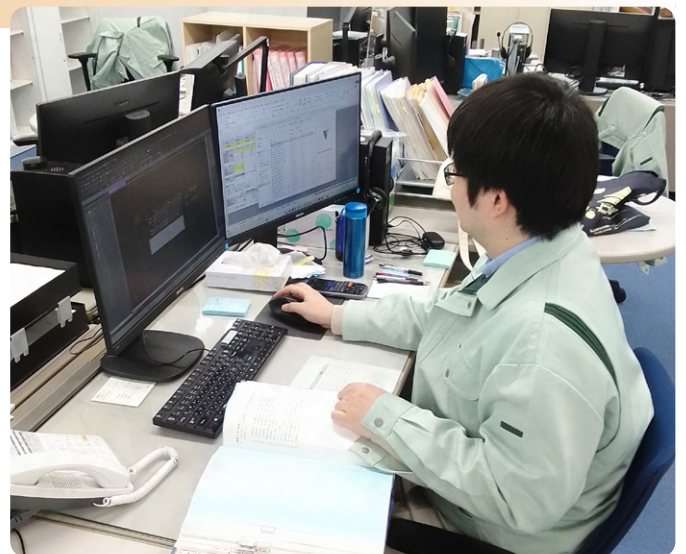


私は周南市から山口県建設技術センター（以下センター）へ派遣研修として、令和6・7年度の2年間勤務させていただきました。

センターでは設計図書作成業務として橋梁架設や補修工事、機械・電気設備工事、災害工事等を、調査設計管理業務では橋梁補修・補強等の設計管理業務や、県のマニュアル作成補助業務など、多種多様な業務に携わらせていただきました。特に市では関わる機会が少ない橋梁架設、機械・電気等の工種を経験することができたことは貴重な経験になったと思います。

携わらせていただいた、いずれの業務においても自身の知識や勉強だけでは課題を解決することが難しく、周囲にご迷惑をかけてしまうこともありました。そのたびに上司・同僚の皆様にご助けをいただき、同時にこれまでの自分になかった知見や考え方を学ぶことができました。

私自身は入庁後の初めての異動でセンター派遣をさせていただき、不安もありましたが、心優しい上司・同僚の皆



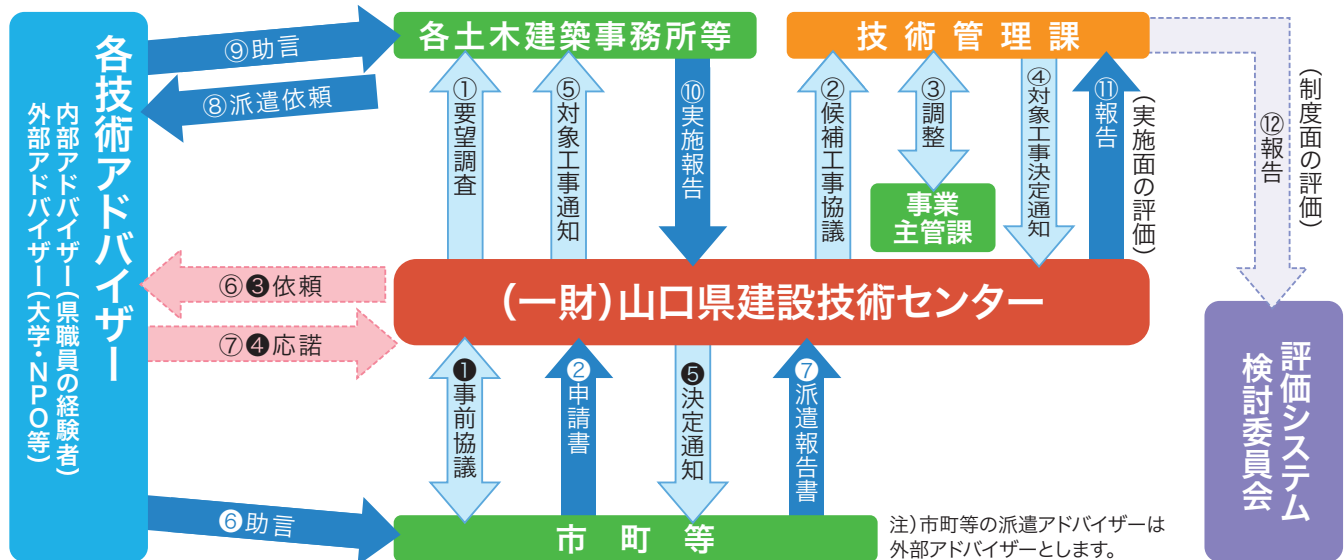
様に助けていただき、2年間の業務を終えることができました。

最後になりますが、様々なご指導、ご協力を頂いたセンターの皆様、業務を通してお付き合いをさせていただいた県、市町の皆様、私を研修に出していただいた周南市に感謝いたします。今後は派遣研修で得た経験や知識を生かして周南市に貢献していきたいと思っております。

センター業務の紹介について ～技術アドバイザー派遣業務～

(一財) 山口県建設技術センターでは、高度化する発注者の責務を果たすため、技術的経験の伝承が困難な以下の8工種について、担当者に助言及び支援を行う「技術アドバイザー派遣業務」を実施しています。従来は県事業のみを対象としていましたが、平成22年度からは市町事業に対しても試行実施しています。年度途中の依頼も随時受け付けていますので、積極的な活用をご検討ください。

※8工種【橋梁、トンネル、地盤基礎、下水処理、建設環境、法面・斜面、ダム、コンクリート】



新任職員紹介 ～よろしくお願ひします～

技術部



青木 涼 技師

皆様の業務が円滑に進むよう精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

技術部



有重 笙太 技師

皆様とのコミュニケーションを大事にし、業務が円滑に進むよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

業務部



柳 慎一郎 主任

実りある研修が開催できるよう、丁寧な運営に努めて参ります。よろしくお願いいたします。

ヨロシク
お願ひします



編集後記

環境省が公表している気候変動影響評価報告書によると、日本は世界よりも速いペースで気温が上昇しており、21世紀末には、多くの地域で猛暑日や熱帯夜の日数が増加し、冬日の日数が減少すると予測されています。

また、年間の降水量は、過去130年間を通じた変化傾向は見られないものの、降雨日は減少傾向にあるとの結果が報告されており、このことが示すとおり、近年は「線状降水帯」と呼ばれるような短時間にまとまった雨を引き起こす気象現象が発生するようになりました。

今後は、1人1人が日頃から気候変動のリスクについて意識し、有事の際は柔軟に対応できるように準備することが求められているように感じます。

先日、最高気温が40℃以上の日の名称が「酷暑日」となり、これまでにないような暑さが待ち受けている予感がする今年の夏。月並みではありますが、水分補給等を意識し、早めに冷房設備のフィルター掃除等の準備を行い、万全の体制で乗り切りましょう。

【Eメール】 info@yama-ctc.or.jp

【ホームページ】 <https://www.yama-ctc.or.jp>

〒753-0077 山口県熊野町1番10号

ニューメディアプラザ山口ビル(NPYビル)10階

一般財団法人 山口県建設技術センター

情報誌編集委員会 宛

【TEL】083-920-1233 【FAX】083-920-1288